

桜雲舎



陸上競技部



野球部・夏の県大会



体育大会



桜雲祭・茶道部



修学旅行



北海道桜雲会設立総会



センター試験 100 日前集会



釜石支部設立総会



応援歌練習



奥州支部(旧水沢支部)総会



ASMSA 来校

第62号
 発行
 岩手県立花巻北高等学校
 桜雲同窓会事務局
 TEL 0198-23-4135 FAX 23-1354
<http://www2.iwate-ed.jp/hkn-h/>
 印刷 (株)菊忠印刷



創立九十周年に向けて

桜雲同窓会長

佐藤 良介

桜雲同窓生の皆様には、平素より本同窓会の活動に對しまして、温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校は昭和六年四月一日、花巻町外十七町村学校組合立花巻中学校として開校し、明年令和三年には創立九十周年を迎えます。

本年度は、来るべき九十周年に向けて、同窓会として二つの事業を行うことができました。

一つは、組織の拡充強化を図ることとし、元年六月に北海道桜雲会、九月に桜雲同窓会釜石支部が設立されました。

北海道桜雲会については、花巻出身の北大初代総長佐藤昌介先生、本校の初代校長佐藤昌先生が、札幌農学校卒業者であり、その教育理念が、本校の教育理念として受け継がれていると言われており、まさに本校ゆかりの地の札幌に支部が結成されたことは、我々の長年の念願が叶い、誠に喜ばしい限りであります。初代会長には、神戸典臣氏(二十二期)にご就任頂きました。

また、釜石自動車道が全線開通し、ラグビーワールドカップで大いに賑わった釜石にも支部が結成され、初代支部長には、八幡徹也氏(四十四期)が就任されました。



これにより、同窓会組織は、東京、関西、仙台、北海道の県外四支部を含め、十七支部になりました。全国各地において、同窓生として親睦を深めながら、同窓会活動にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

二つ目としては、二〇一九年版同窓会員名簿の発行を行いました。これは、六年に一度改訂し発行しているのですが、同窓生の数も八十三期で二万六百余名となり、皆様の格別のご協力により十一月に発行することができました。

来年の九十周年に向けて、この名簿が同窓生の絆をより確かなものとする一助になれば幸いです。同窓生の皆様には、今後とも母校の発展のため多大なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定期総会報告

令和元年度の桜雲同窓会定期総会

は、令和元年八月三日(土)十四時から、ホテルグランシェール花巻において開催されました。来賓に花巻市長、校長、事務長、花巻南高校同窓会長、花巻北高校PTA会長、副会長をお迎えし、同窓生約二一〇名の参加を得て行われました。

①平成三十年度事業報告について
②平成三十年度一般会計収支決算について
③平成三十年度周年事業積立金収支決算について
④平成三十年度国際交流事業積立金

⑤令和元年度事業計画(案)について
⑥令和元年度一般会計収支予算(案)について
⑦令和元年度周年事業積立金収支予算(案)について
⑧令和元年度国際交流事業積立金収支予算(案)について
⑨監事一名補充選任について
⑩二〇一九年版同窓会会員名簿について

収支決算書について

協議事項は、すべて議案書どおり承認されました。講演会では、高橋信雄先生(二六期)・

花巻市博物館館長)をお迎えし、『多田等観と宮沢賢治』と題してご講演を頂きました。続く懇親会では和やかな雰囲気の中楽しく思い出話をする事ができ、最後は校歌を斉唱し終了いたしました。

支部総会開催状況

- 関西支部 六月十五日
北海道支部 六月二十二日
盛岡支部 七月二十二日
石鳥谷支部 七月二十六日
釜石支部 九月九日
奥州支部 十月二十六日
仙台支部 十一月九日
東和支部 十一月二十三日
東京桜雲会 一月十一日

平成30年度桜雲同窓会一般会計収支決算書

平成30年6月1日～令和元年5月31日

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Includes income and expense sections.

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Continuation of income and expense sections.

収入 支出 残高
¥5,182,693 - ¥4,762,352 = ¥420,341 残額は、次年度へ繰り越す。

令和元年度桜雲同窓会一般会計収支予算書

令和元年6月1日～令和2年5月31日

Table with 5 columns: Item, Previous Budget, Current Budget, Comparison, Remarks. Includes income and expense sections.

Table with 5 columns: Item, Previous Budget, Current Budget, Comparison, Remarks. Continuation of income and expense sections.

平成30・令和年度 桜雲同窓会役員

Table with 2 columns: 役職名 (Position) and 氏名(期) (Name/Term). Lists members like 会長 佐藤良介(33), 副会長 酒井孝子(33), etc.

桜雲同窓会支部長

Table with 2 columns: 支部 (Branch) and 氏名(期) (Name/Term). Lists regional leaders like 宮野 未定, 東和 藤井公博(23), etc.

平成30年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支決算書

平成30年6月1日～令和元年5月31日

単位:円

Income statement table with columns: 項目 (Item), 予算額A (Budget A), 決算額B (Actual B), 増減B-A (Change B-A), 備考 (Remarks). Rows include 繰越金, 繰入金, 雑収入, 合計.

<支出の部>

Expenditure statement table with columns: 項目 (Item), 予算額A (Budget A), 決算額B (Actual B), 増減A-B (Change A-B), 備考 (Remarks). Rows include 国際交流事業, 合計.

収入 支出 残高
¥3,001,455 - ¥500,000 = ¥2,501,455 残額は、次年度へ繰り越す。

令和元年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支予算書

令和元年6月1日～令和2年5月31日

単位:円

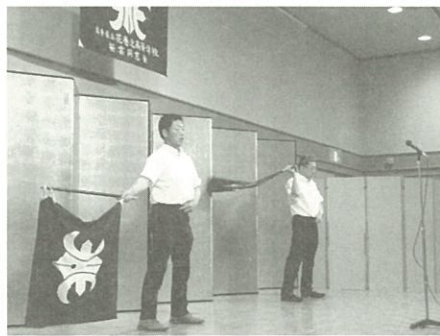
Income statement table for the next fiscal year with columns: 項目 (Item), 前年度予算額B (Prev Budget B), 本年度予算額A (This Budget A), 増減A-B (Change A-B), 備考 (Remarks). Rows include 繰越金, 繰入金, 雑収入, 合計.

<支出の部>

Expenditure statement table for the next fiscal year with columns: 項目 (Item), 前年度予算額B (Prev Budget B), 本年度予算額A (This Budget A), 増減A-B (Change A-B), 備考 (Remarks). Rows include 国際交流事業, 合計.



講演会



懇親会での応援歌



懇親会・万歳三唱

講演会

演題 「多田等観と宮沢賢治」
— チベットに捧げた
人生と西域への夢 —

講師 高橋信雄 氏(26期)
花巻市博物館館長



《略 歴》 1943年 花巻市四日町生まれ
1962年 花巻北高等学校卒業
1967年 早稲田大学文学部卒業
岩手県立博物館学芸部長を経て2006年より花巻市博物館館長
岩手大学教育学部非常勤講師(「考古学特殊講義」「博物館教育論」)
日本考古学協会会員 日本人形玩具学会会員
《著 書》 『日本の古代遺跡51岩手』 保育社 1996年
『祈りと遊び 花巻人形の世界』
盛岡出版コミュニティー 2017年

【概 要】

多田等観は明治23年秋田市生まれ。秋田中学を卒業後、明治44年弟が修行していた京都西本願寺を訪ね、得度した。その後、第22代宗主大谷光瑞に命じられ、ダライラマ13世の派遣した留学生の世話係をしながらチベット語を習得した。同年10月に辛亥革命が起こったため、帰国する留学生に付いて、インドからブータンを経由してチベットに入った。チベットで10年間修行し、最高学位ゲシェー(大博士)の称号を与えられた。修行中に疑獄事件により、大谷光瑞が失脚し、苦境に立たされた。その時最大の支援者となってくれたのが島地大等である。

島地大等は、西本願寺の文学寮や高等科で学んでいた時から、優秀な成績で有名であった。その学才が大谷光瑞に認められ、仏教遺跡調査を目的とした第1次大谷探検隊の隊員としてインドや

ネパールで調査を行った。その後、願教寺(盛岡市)の第25代住職、島地黙雷の娘と結婚し、26代住職となった。

宮沢賢治が高等農林の学生だった頃、「漢和対照妙法蓮華経」を読み大きな影響を受けたと言われているが、それは島地大等が編纂したものである。明治44年には、大沢温泉で開催された仏教講習会に参加し、父政次郎に代わって講師の島地大等の世話をしたこともある。賢治の「西域異聞三部作」として、「マグノリアの木」、「インドラの網」、「雁の童子」が金子民雄によって挙げられている。作品の中には、等観と共にチベットに渡った僧侶をモデルにした名前の登場人物が出て来たり、華嚴経の教えにヒントを得たと思われる場面も多く登場する。賢治と等観は、生涯一度も出会ったことはないが、その周囲の人達を通じて多くの接点があり、思想信条でも共通点が多い。(後略)

同期会だより

桜雲第二十六期生

「喜寿を祝う会」

幹事長 奥山 隆

令和元年十一月四日、第二十六期生の喜寿の祝いの会を新鉛温泉「結の宿愛隣館」で開催しました。

これ迄も節目節目で旧交を温めて参りましたが、近年何人かの級友が泉下に入られました。やはり口惜しい思いが募ります。

当日は四十二名の参加となり、十六時三十分の記念撮影迄ロビーで待機しておりました。名札を見ないと顔と名前が一致しない人もおり、まごついておりましたが、永井悦子さ



んがお抹茶を点て皆に振舞ってくれて、助かりました。

会は十八時に始まり、開会に先立ち、物故者に黙祷を捧げました。永井悦子副会長の「開会のことば」に続いて、猪澤康祐君のリードで「校歌」を歌いました。後藤勝也会長の挨拶では、前同窓会長故宮澤啓祐君のことや今日迄の経過、そして、今後の残された人生等について語られた。その後、松本敏之君の祝舞、宝生流「高砂」の仕舞が行われ、名古屋から馳せ参じた平野忠陽君の乾盃で祝宴が始まりました。

それからは、おいしいお酒や料理を囲み、時間の許す限り、笑いながら親睦を深めました。牛崎孝子さんの「南部よしゃれ」の踊り等もあり大変盛り上がり、宴もたけなわになった頃、中里嘉頭君のもと「応援歌」遠征の歌「花高讃歌」等を歌いました。渡辺彦君の「三本締め」そして、「閉会のことば」で一次会は終了。

その後二次会も夜の更けるのも忘れ、お酒も入り遅く迄語り合いました。翌日、再会を誓いながら散会しました。追伸、今迄の会の残金と当日の募金で喜寿に合せ七万七千円を同窓会へご寄付いたします。

桜雲三十三期古稀と卒業五十周年を祝う会

三十三期理事 藤田 岩夫

令和元年十一月十五日花巻温泉ホテル千秋閣において、古稀を迎えた同級生五十七名の参加を得て開催しました。我々も年を重ねること、亡く

なる同級生も多くなり、還暦の集りの後、三年前に「花北入学五十周年を祝う会」を開き、そして今回、古稀の会の開催となりました。

写真撮影後、坂井守久君の進行で、酒井孝子さんの開会の辞、応援団長であった赤坂徹君の校歌斉唱、代表幹事の佐藤良介君(桜雲同窓会長)の挨拶、恩師祝辞と続ききました。恩師は、八十五歳になる安藤厚先生が出席してくれました。花北の校歌が、県内で一番素晴らしいとの挨拶をいただきました。我々同窓生としては、すごく嬉しく思いました。

その後、琴古流尺八師範の玉山泉君竹号、竹乗が「星夜曲」を演奏し、会を盛り上げてくれました。佐藤勝君(市教育長)の乾杯の音頭で宴会が始まりました。今回は、南は和歌山県、北は北海道からの参加でした。テーブルは、クラスごとでしたが、宴会が始まったとたん、三年ぶりの出会いで、自分の席から離れ、あちこちの友人に話し始め、料理もあまり食べない人達が続出しました。途中から、各クラスごと、ステージでの一言スピーチを行いました。それぞれ思いが多く、予定時間内では終わりませんでした。更に、来賓の安藤先生のお帰りの案内をしたら、女性陣が先生を取り囲み、サインをねだり始め、酒井隆君が花巻駅に送ったはずですが、列車に乗れたか、わかりませんでした。

同級生はいいもので、一瞬にして五十年前の高校時代に、戻れるものだと思います。一次会の最後は、応援団であった岩館洋昭君等の音頭で、

花高讃歌を斉唱し、閉会となりました。二次会には、日帰りの人たちも含めほぼ全員が参加し、富手健悦君の進行で、思い出話をする者、カラオケを歌う者、それぞれ思いのまま、楽しい時を過ごしました。そして翌朝、喜寿での再会を約束し、花巻温泉をあとししました。



卒業以来の再会、五十四期同窓会の開催

令和元年同窓会事務局 伊藤 達也

平成元年度卒業の第五十四期生(代表及川龍彦氏)は、実行委員二十二名が中心となり初の同窓会を令和元年十二月三十日ホテルグランシエール花巻にて開催いたしました。

三十四名中、九十五名が地元はじめ北海道、愛知から帰省に合わせ出席。

会に先立ち昨年ご逝去された柔道部顧問佐藤典夫先生らこれまで亡くなられた恩師、同級生に黙祷を捧げ、高橋貴子氏が当時のネガより作成した動画から開会。放送部浅沼寿美枝氏が司会を務め、代表挨拶、幹事紹介を経て今会開催の立役者、東京在住の齊藤真砂子氏の乾杯で懇談へ。

当時結成の複数バンドから選ばされた急造バンドHKK48(花北高48歳)によるライブで最高潮に。不参加同級生のメッセージ紹介、当時はスライドショーで振り返り、学級対抗イントロクイズまで行われホテルに促され閉会。二次会には九割が参加し、受付時に投票した当時の推しメンコメント発表で更に会場は大盛り上がり。二次会を終えても尚、熱が冷めず五十名を超すアラフィフは双葉町へ消えていきました。尚、今会にて36万円の同窓会費を納金できたことを申し添えたいと思います。



支部だより

「北海道桜雲会」設立

海老原 浩 樹 (36期)

母校を巣立った後、進学或いは職業等で、更には縁あつて嫁ぐ事により北海道で暮らし始めた同窓生が数多くいた中で、支部が結成されないうまま今日に至っていました。

一人ひとりが胸に秘めている桜雲への郷愁の念は取り分け強いものがあり、一昨年の秋、札幌在住の有志十二名が集まりました。その熱気を道内の同窓生へ語り広げたところ、多くの方々から賛同の声が寄せられ、昨年六月二十二日、同窓生十七名が集まり、本部から佐藤同窓会長、菅野校長、切田事務局長にご参加頂きまして、総勢二十名にて北海道支部設立総会を開催致しました。

十五期生から七十五期生迄、男性十名、女性七名が参加。総会では提出四議案を満場一致で採択「北海道桜雲会」と命名し、初代会長には二十二期神戸典臣先輩が就任しました。

旧制花巻中学校創設に所縁が深い北の大地に、創立八十有余年を経て、漸く支部を結成するに至りました。

総会後の懇親会では、自己紹介を兼ねた想い出の語り会が熱を帯びて行くにつれて、皆様の表情は桜雲臺で最も多感な三年間を過ごした花巻生となりました。

今後は、働き・子育て世代の参加による層の充実と、様々な交流に工夫を凝らし、北海道における桜雲の絆をより強くして行きたいと考えております。

「奥州支部」だより

田面木 茂 樹 (33期)

令和元年度「桜雲同窓会」奥州支部総会を数年ぶりに開催することができました。手元にある記録によると、桜雲同窓会水沢支部は、平成七年度に創設、定期的に開催されていましたが、平成二十三年度以降、様々な状況があり今まで開催されていませんでした。

平成二十九年年度の本部総会で石川副支部長から再開しようとの声があり、新元号となった、十月二十六日(土)に開催することができました。水沢支部としての同窓会でしたが、奥州市となり、支部名も変更し、「桜雲同窓会奥州支部」としての開催でした。

当日は、来賓に本部佐藤良介会長、菅野慎一学校長、事務局を迎え十二名と少ない人数での総会を開催し、新支部長に石川嘉信先生、副支部長に菅章夫先生、顧問には、後藤農氏、及川源三郎氏、箱崎清高氏をそれぞれ選出し新体制をスタートしました。

会長からは本部の状況、校長先生から、母校の様子についてのご報告をいただき、箱崎支部長より水沢支部時代のお話をお聞きすることができました。

その後の懇親会では、会員各位の近況報告、高校生活時代の様子を懐かしく話されるなど、当時を思い出しながらの楽しい交流となりました。懇親会の最後には、全員で校歌斉唱となり会を閉じました。

奥州支部の会員数は名簿上、奥州市に八十七名。また、金ヶ崎町に十一名の会員がいます。来年度以降は、金ヶ崎町

も一緒に、新生「桜雲胆江支部同窓会」の開催にはという話題にもなり、その方向で開催を考えたいと思います。多くの仲間がこの胆江地区にいます。

しかし、開催が途切れていたこともあり、今回は参加者が少ない開催でした。次回では、多くの仲間の参加を期待し、交流の継続、発展をしたいと願っています。引き続き会員皆様のご協力をお願い致します。

「釜石支部」設立

八 幡 徹 也 (34期)

かねてより懸案であった桜雲同窓会釜石支部が昨年九月九日、正式に発足いたしました。

設立総会には、佐藤良介同窓会長・菅野慎一校長・佐藤猛夫釜石教育委員(元花北教諭)・小原尚教諭のご来賓の方々の出席をいただき、釜石関係同窓生二十名の参加の下、開催されました。

発起人代表の佐々木欣也大先輩(26年度卒)・佐藤同窓会長・菅野校長先生のご挨拶の後、議事に入り、規約制定、役員選任、事業計画及び収支予算が、それぞれ事務局原案通り可決承認されました。

閉会後には、佐藤猛夫先生のご発声で乾杯が行われ、和やかに交流が深められました。最後には全員で校歌や賛歌を斉唱し、会が閉じられました。名簿記載二十五名中八割が転勤族ということもあり、毎年の入れ替わりを的確に把握していく必要があると感じさせられました。

今回の支部設立にご尽力いただきました皆様にご心より感謝いたします。

令和元年度文化講演会 令和元年10月1日(火)

文武不岐

～柔道Onlyの僕がJAXA研究員になったのはなぜ?～

講師 立花 繁氏(桜雲 54期)

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 航空技術部門 主幹研究開発員



○略歴

1972年 花巻市生まれ。花巻北高等学校卒業。筑波大学第三学群基礎工学類卒業。筑波大学大学院理工学研究科理工学専攻修士課程修了。東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻(博士課程)修了。2000年、航空宇宙技術研究所に入社。米回ローレンス・バークレー国立研究所にて在外研究。現在、航空エンジン燃焼器の研究開発に従事。

今年度の文化講演会は「文武不岐—柔道 only の私が JAXA 研究員になったのはなぜ?」という演題で行われた。内容は大きく分けて2つ。1つが高校時代の部活動と学習の様子、もう1つが大学や JAXA で取り組んできた研究の紹介である。

「高校時代は柔道に打ち込み部活動引退後に猛勉強をし、推薦一般入試を経て第一志望の筑波大学に合格。この時代から人との出会いを大切に生きてきた結果、現在の JAXA 研究員として次世代のジェットエンジン燃焼器の研究開発を進めるに至った。特にも、恩師との出会いを大切にすることができた。出会いに恵まれていたかもしれないが、その出会いを逃さなかったのは自分の意思だと思っている。年齢を重ねるにつれ、専門を突き詰めた研

究から、いろんな研究成果を東わて社会にどう役立てるかということにも興味を持つようになってきた。高校時代から意識・無意識に「文武不岐」の姿勢で取り組んできたが、現在もこの姿勢は変わっていない。特に若いうちに養っておくべきことは、自立し自分なりに考えて行動する覚悟ではないかと思う。そういうトレーニングをぜひ意識して行ってほしい。」

最後に、生徒に向けて「皆さん全員にこの生き方を進めるわけではない。ただ、こういう生き方もあるんだということを知ってもらい、『それなら私もこういうことができそうだな!』と勇気をもって自分なりの挑戦に取り組んでほしい。」というお話を頂いた。

生徒感想

《1年生》

今日の講演会は、柔道部 OB の立花先生による大変興味深いものでした。この講演は佐藤典夫先生が年始にお願いして実現したものであり、典夫先生がいらっしゃらなければ、実現しなかったと思います。典夫先生に感謝したいと思います。

《2年生》

講演の中で最も印象に残っているのは「文武不岐」です。「文武不岐」は「部活も勉強も根本は同じもので別の道と考えない」という事だそうです。部活動で先生に言われた「部活を頑張る人は自然と勉強も頑張る」という言葉とそれが繋がりました。立花さんは JAXA に入ったのは流れだとおっしゃっていましたが、「人事を尽くして天命を待つ」のように、やるべき事を全力でした結果なのだと感じました。

《3年生》

一番印象に残ったのは、「社会を意識した研究をする」という所です。私は将来宇宙に関わる研究をしたいと考えています。講師は JAXA の航空技術の部門で、飛行機エンジンの効率化や、災害が発生した際の情報収集の為の技術開発など、社会に役立つ研究を沢山していることが分かりました。大学で研究を行う時は、社会がどのようにならなければならないかを常に考える必要があると強く感じました。

表彰

令和元年度春の叙勲・褒章

○奥山 隆【26期】

旭日単光章 選挙管理事務功勞
(元花巻市選挙管理委員会委員長)

○臺 徹【第29代校長】

瑞宝小綬章 教育功勞(元公立高校長)

○佐藤 正昭【30期】

瑞宝双光章 教育功勞(元公立小校長)

○松本 明良【31期】

瑞宝双光章 教育功勞(元公立中校長)

○葛巻 治【32期】

黄綬褒章 業務精勵(外食産業)
(㈱南部屋敷社長)

令和元年度秋の叙勲・褒章

○戸羽美智子(旧姓 玉川)【31期】

瑞宝双光章 教育功勞(元公立小校長)

花巻市市勢功勞者表彰

《地方自治功勞》

○佐々木 稔【30期】

(元花巻市助役、元花巻市副市長)

○戸來喜美雄【32期】

(元花巻市監査委員)

《教育文化功勞》

○畠山 忠弘【25期】

(前一般財団法人花巻市体育協会会長)

(㈱畠山冷機工業所代表取締役)

○照井 善耕【31期】

(元花巻市教育委員会教育長)

(元花巻市教育委員会委員長)

内外で活躍する

OB・OG紹介

一歩ずつ―後輩のみなさんへ―



小説家

阿部 暁 子 (68期)

在学時(高3)に第18回全国高等学校文芸コンクール小説部門最優秀賞、文部科学大臣奨励賞受賞。2008年『いつまでも』で第17回ロマン大賞受賞。

私は二〇〇四年に花巻北高校を卒業しました。国語は得意な反面、理数系と体育は全然だめで「これからどうやって生きていけばいいのか」とか「生きる意味とは何なのか」と常に不安を抱えている高校生でした。

気持ちだけが将来への手掛かりでした。でも自分などが小説家になれるのかと思うと、みじんも自信はななく、これでいいのか確信がないまま大学に進みました。

私が小説を書き始めたのは、高校生の時に面白い漫画を読んで「私も描きたい!」と思ったものの、致命的に絵心がないので、仕方なしに文字で物語を作ることができる小説に挑戦したという経緯があります。でも創作を始めるとすっかり病みつきになりました。熱中するあまり、冬休みの課題を忘れて先生に雷を落とされたことも、白状すればあります。私は小説家になりたいと在学時から思っていました。それは「夢」とは少し違いました。「就職か?進学か?」「進学するならどの大学に行くか?」「何者になるためにどんな勉強をするか?」と次々に選択を迫られるものの、私は自分がどうなりたいたいか全くわからず、そんな中、小説を書くことが好きだとい

予感していた通り私はなかなか小説家にはなれませんでした。新人賞に応募しても落選続きで、受賞したのは大学卒業後に就職してからです。デビューした後もヒット作を出せず、苦しい時期が続きました。ただ、どんなに苦しくても小説を書くことをやめたいとは思いませんでした。一歩ずつ手探りで進むように作品を書き続けて、気がつくくとデビューから十年が経っていました。何とかやってきた、というのが正直な気持ちです。

こんな私ですが、みなさんより長く生きている人間として、ひとつ言えることはあります。これから何を選んだとしても、その場所で誠実に一歩ずつ努力していけば、きっとその先に続く道が見えてくる。だから今は、三年間しかない貴重な高校生生活を精いっぱい楽しんでください。

ハンドボール 韓国遠征



令和元年七月三十一日〜八月五日に、本校ハンドボール部(男女)が韓国遠征に参加しました。令和二年度、花巻市で全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技が開催されます。今回の遠征はインターハイ出場に向けて、花巻市内強化指定クラブ(本校、花巻南高校)の強化を目的とし、花巻市ハンドボール協会の主催事業として実施されました。

チームの声の大きさやステップワークに度肝を抜かれ、生徒の表情には不安が見られましたが、どこまでも妥協を許さないコーチの練習に対する姿勢に、覚悟を決めて頑張る生徒たちの変化には目を見張るものがありました。親善試合でも、韓国チームの高い技術になすすべもなく試合を終えました。が、生徒たちはコーチの厳しい指導に食らいつき、韓国チームのプレーを見本としながらオフエンスの練習に取り組みました。ボールキャッチ、位置の取り方、フェイントのステップ等、基本的なことを丁寧にコーチが生徒たちに説明し、韓国チームが見本を見せての指導だったので生徒たちは理解が早く、お互いにコミュニケーションをとりながら理解を図ろうとする姿からは、何とかこの技術を自分のものになりたいという生徒の必死さが伝わってくる練習となりました。

遠征には、ハンドボールの技術、知識の習得は基より、海外遠征を通して他国の文化を理解し、選手との交流を図り自身の人間性を高めるということを目的として参加しました。初日のウォーミングアップから韓国監督もコーチも、練習の目的や内容を練習メニューが変わる度に細かく説明して下さり、生徒はその内容を理解しているか、このチームにあっているかということは何度も私に確認をとりながら練習を進めてくれました。日本の社会情勢が心配される中での訪韓でしたが、スタッフ、選手ともにフレンドリーに接していただき、スポーツに政治は無関係であるということ改めて強く感じました。

三日間という短い期間ではありましたが、生徒と共に私にとっても有意義な機会を得るようになりました。ぜひ次年度以降も継続したい、実りの多い強化事業でした。

(男子顧問 齋藤 崇)

令和の扉をひらく

校長 菅野 慎一

桜雲同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼を申しあげます。3月1日の卒業式の際には桜雲同窓会より卒業証書ファイルをご準備いただきました。令和最初の卒業生は236名、一人ひとり渡された証書を大切に保存できるとよろこんでおります。ありがとうございました。

さて、桜雲同窓会の各支部では、学校の近況報告等をしておりますが、過日今年度の卒業生の一人、佐々木晴さんについてうれしい知らせが届きました。「文芸誌甲子園」といわれる第10回富士正晴全国高等学校文芸誌賞で、作品『本当のこと』(花北文学62)に記載が、全国高校生文学賞大賞に輝いたのです。これは全国第1位の賞です。小説部門の高校生チャピオンが花北文芸部から生まれたことになりました。この作品は、演劇を通じて東日本大震災の真実を伝えようとする高校生について描いたものです。先輩方が築かれてきた黒橋魂と桜雲臺精神をみごとに発揮したものと思っております。

今年度の桜雲同窓会もまた佐藤良介会長の精力的な働きかけの中、活発な活動が繰り広げられました。改めて御礼申し上げます。特に北海道(6

月22日・釜石(9月9日)・奥州(10月26日)の三支部は記念すべき令和最初の設立総会となり、それに立ち会えたことをうれしく思います。

また、周年事業を前倒しで実施させていただいているASMSA(米国アーカンソー数理芸術高)への生徒派遣は今年度より人数を6名へと増やしております。この事業が定着したのも佐々木幸三(15期)氏をはじめとする桜雲同窓会のご支援があったればこそと思っております。そして、毎年欠かさず、そのお土産にしているものが、城守節子(25期)さんが丹精込めて作られている和紙人形のしおりで、先方では大変好評だと聞いています。東京桜雲会の折り、厚かましくも3月に出席する生徒にも持たせたいとお願いしたところ、後輩のためならと快く引き受けてくださいました。桜雲の絆の強さを感じた一時でした。この場をお借りして感謝申し上げます。

令和3年度の創立90周年にむけて9月26日に桜雲同窓会とPTA・学校による三者会議を開催させていただきました。今後、皆様のご支援・ご協力を得て、花高をいっそう盛り上げていきたと考えておりますので、どうぞよろしく願います。



令和元年度「姉妹校 ASMSA 派遣事業」報告



平成29年度に始まった「姉妹校 ASMSA 派遣事業」は、今年度で3年目。6月5日、ホツスプリングス市よりASMSA 生徒15名、引率教員3名が来校し、交流を深めました。この3月に派遣される本校生徒6名の家庭はホストファミリーとしてASMSAの生徒を受け入れました。その時の感想とASMSA 訪問への思いを紹介します。

事業の目的…本校に在籍する生徒を姉妹校である米国アーカンソー州ASMSAに派遣し、授業参加、実習体験、文化交流などを行い、グローバルリテラシーを高めるとともに、本校生徒への環流を行う。
派遣期間……令和2年3月5日(木)～13(金)9日間
参加者……7名(生徒6名、引率教員1名)

2年1組 照井 希望 & Madison Heiderscheidt



私は今回の受け入れを通して、日々私達が触れている「英語」と、今や多国籍言語として求められる「英語」との大きな違いを肌で感じる事ができました。教わった知識を、「生きる英語」として習得していくためには、インプットした英語を自ら発信し、実力を試す場が必要だと思う。海外派遣は初の経験で、戸惑いや不安はあるが、それに打ち勝つだけの積極性を心がけたい。また、自身の英語力を試し、課題を見つめる絶好の機会を価値あるものにしたい。

2年2組 荒谷 帆南 & Hadley Medlock



ASMSAからの留学生と過ごした生活は、とても充実したものであった。一緒に折り紙をしたり、手持ち花火を楽しんだ。日本文化を体験する中で、互いの文化の違いについて話し、物事を考える視野が広がった。また、言語や文化の違いではなく、相手の心に目を向けること、相手を理解しようとする姿勢の大切さに気づいた。今年度ASMSAを訪れる際、英語力を向上させるとともに、特に私の進路に関わる「教育」に焦点をあて、深く学びたい。

2年3組 伊藤 咲希 & Marley Vincent



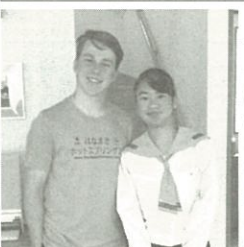
私は今回の受け入れで外国語で会話をする事の難しさを痛感した。使われる単語が難しく何を言いたいのかわからないことがあった。しかし、分からない単語を英語で説明してくれたり、一緒に調べたりする時間がとても楽しかった。お味噌汁やたこ焼きなど、日本の食べ物をとて気に入ってくれていたし、温泉を満喫していた。日本の文化と一緒に触れることができた期間だったと思う。現地研修までに、もっと英語を勉強し、実りの多い研修にしたい。

2年3組 田中 日和 & Tamryn Woolfork



私が交流を通して大切だと感じたことは「積極性」である。難しく考えず交流を楽しもうと積極的に会話したおかげで一生もの思い出を作ることができた。ホツスプリングス市を訪問した際は、「福祉」をテーマにアメリカの人たちの生活について調査し、現代日本で問題になっていることに関わっていくたいと思う。

1年1組 鈴木 麻央 & Luke Stouffer



今回の受け入れで、教科書がコミュニケーションの全てではないことに気づいた。むしろ、実際のコミュニケーションに必要なことは教科書に載っていないことが多かった。「伝えよう、わかって」という気持ちで真正面から向き合うことが大切だと痛感した。自身に足りない英語力を磨き、三月にはより深い交流をしていきたい。

1年3組 加藤 開 & Salim Al-Tamimi



受入ではたくさん英語で会話することができた。セイレムは僕と違って将来のことをしっかり考えていて、目的意識を持って勉強に励んでいた。選挙権獲得後に誰に投票をするのかも決めた。派遣では積極的に現地の学生とコミュニケーションをとって将来の目標などを聞いて、自分の将来を考える上での参考にした。

部活動報告 (県大会以上)

野球

第71回岩手県高等学校総合体育大会硬式野球競技... 第101回全国高等学校野球選手権岩手大会... 第72回秋季東北地区高校野球花巻地区予選

サッカー

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第98回全国高等学校サッカー選手権岩手県大会... 第54回岩手県高等学校総合新人サッカー大会

ソフトennis

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会

陸上競技部

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会

ハンドボール

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会

バレーボール

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会... 第71回岩手県高等学校総合体育大会

1部1回戦 花巻北26-18花巻農業... 2部1回戦 花巻北37-8北上翔南... 3部1回戦 花巻北22-23盛岡四

1部1回戦 花巻北26-18花巻農業... 2部1回戦 花巻北37-8北上翔南... 3部1回戦 花巻北22-23盛岡四

水泳

第71回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技... 男子200m個人メドレー 予選第9位... 女子200m個人メドレー 予選第7位

バドミントン

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 男子シングルス 予選第1位... 女子シングルス 予選第2位

卓球

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 男子シングルス 予選第1位... 女子シングルス 予選第2位

柔道

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 男子57kg級 予選第1位... 女子57kg級 予選第2位

バレーボール

第71回岩手県高等学校総合体育大会... 男子バレーボール 予選第1位... 女子バレーボール 予選第2位

- 66級 1回戦 ×遠山弥輝(佐藤)手〇
- 90級 ×横澤元(大畑)福岡
- 1回戦 ×長岡泰順(伊藤)手〇
- 2回戦 花巻北2-0福岡
- 3回戦 花巻北0-3不来方 ※ベスト8
- 4回戦 花巻北2-0福岡
- 52級 ×吉田知世(金子)不来方
- 57級 1回戦 ×澤田真穂(沼端)盛岡中央
- 2回戦 ×澤田真穂(沼端)盛岡中央
- 第42回全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会
- 男子団体
- 1回戦 ×花巻北 2人残し 盛岡工業
- 2回戦 ×花巻北2-1関第一
- 3回戦 ×花巻北0-3盛岡南 ※ベスト8
- 女子団体
- 1回戦 ×花巻北(5人残し)一軒
- 2回戦 ×花巻北(1人残し)一宮古
- 準決勝 ×花巻北(盛岡南)(1人残し)
- 3位決定戦 ×花巻北(3人残し) ×花巻南
- ※第3位
- 第71回岩手県高等学校総合体育大会
- 男子団体
- 決勝トーナメント敗退
- 女子団体
- 決勝トーナメント敗退
- 男子団体
- 決勝トーナメント一回戦
- 女子団体
- 決勝トーナメント一回戦
- 男子団体
- 決勝トーナメント一回戦
- 女子団体
- 決勝トーナメント一回戦
- 男子団体
- 決勝トーナメント一回戦
- 女子団体
- 決勝トーナメント一回戦

- 花巻北0-4東奥義塾
- 男子個人 阿部玲雅 2回戦敗退
- 女子個人 堀口沙耶 1回戦敗退
- 第62回岩手県高等学校剣道新人大会
- 男子団体
- 2回戦 ×花巻北5-0盛岡市立
- 3回戦 ×花巻北2-2水沢(不敵負け)
- 4回戦 ×花巻北2-3江南義塾 ※ベスト8
- 女子団体
- 2回戦 ×花巻北2-2水沢(不敵負け)
- 3回戦 ×花巻北2-3江南義塾 ※ベスト8
- 男子個人 伊藤忠基 ベスト16
- 生崎文也 ベスト16
- 奥山誠也 ベスト16
- 山口ひまわり 準優勝
- テニス
- 第40回岩手県ジュニアテニス選手権大会
- 男子シングルス
- 坂本陽 第10位
- 小原晴生 ベスト12
- 和田伴行 ベスト16
- 18男子ダブルス
- 坂本陽・小原晴生 ベスト8
- 小田翔大 ベスト12
- 大沼航太 ベスト16
- 16男子ダブルス
- 小田翔大・大沼航太 ベスト4
- 菊池虹 ベスト4(東北大会出場)
- 玉澤愛 優勝
- 松井美優 ベスト16
- 小田島鈴花 ベスト24
- 佐藤梓 ベスト24
- 18女子ダブルス
- 佐藤梓・菊池虹 ベスト4
- 16女子シングルス
- 小寺香菜 第3位(東北大会出場)
- 佐久間柚希 第5位
- 16女子ダブルス
- 小寺香菜 第2位(東北大会出場)
- 第71回高総体テニス競技県大会
- 男子団体
- 1回戦 花巻北2-1盛岡南
- 2回戦 花巻北0-2岩手
- 東北大会第3代表決定戦
- 花巻北0-2盛岡第四 第3位 入賞
- 男子シングルス
- 坂本陽 ベスト16
- 小原晴生 ベスト16
- 大沼航太 ベスト16
- 16男子ダブルス
- 小田翔大・大沼航太 ベスト8
- 坂本陽・小原晴生 ベスト16
- 和田伴行・鈴木亮太 ベスト16
- 女子団体
- 2回戦 花巻北2-1盛岡第四
- 準決勝 花巻北1-2盛岡第一 第3位入賞
- 小寺香菜 ベスト8
- 菊池虹 ベスト16
- 佐久間柚希 ベスト16

- 小田島鈴花 ベスト24
- 女子個人
- 小寺香菜 佐久間柚希 第3位
- 佐藤梓・菊池虹 ベスト8
- 玉澤愛・谷岡陽典 優勝
- 令和元年度 国体選考会
- 少年女子
- 小寺香菜 第3位
- 菊池虹 第4位
- 佐久間柚希 第6位
- 東北ジュニアテニス選手権
- 兼全日本ジュニア東北予選会
- 18女子シングルス
- 菊池虹 本戦出場
- 16女子シングルス
- 小寺香菜 ベスト16
- 佐久間柚希 本戦出場
- 16女子ダブルス
- 小寺香菜・佐久間柚希 ベスト8
- 第51回岩手県高等学校新人テニス大会
- 男子団体
- 2回戦 花巻北4-1盛岡南
- 準決勝 花巻北1-3岩手
- 決勝 花巻北3-0盛岡工業
- 花巻北2-3盛岡第一 第3位 入賞
- 2回戦 花巻北5-0盛岡北
- 準決勝 花巻北3-1盛岡白百合
- 決勝 花巻北3-0盛岡第三
- 優勝 東北選抜大会第1代表
- 個人戦
- 坂本陽 ベスト8
- 大沼航太 ベスト16
- 小田翔大 ベスト16
- 16男子ダブルス
- 小原晴生・大沼航太 第3位
- 小原晴生 坂本陽 ベスト16
- 熊谷快斗・高橋一矢 ベスト16
- 女子団体
- 小田翔大・大沼航太 第3位
- 小原晴生 坂本陽 ベスト16
- 熊谷快斗・高橋一矢 ベスト16
- 女子個人
- 小寺香菜 第2位
- 佐久間柚希 第3位
- 菊池虹 第6位
- 吉田ひなた ベスト16
- 川村虹奈 ベスト16
- 女子ダブルス
- 菊池虹・小寺香菜 優勝
- 佐久間柚希・三嶋里奈 第3位
- 第42回全国選抜高校テニス大会東北地区大会
- 女子団体
- 1回戦 花巻北4-1秋田商業
- 2回戦 花巻北1-4寒河江
- 順位決定戦
- 1回戦 花巻北3-2盛岡第三
- 2回戦 花巻北3-1青森東
- 3回戦(全国選抜代表決定戦)
- 花巻北2-3八戸西 第6位
- 東北春季ジュニアテニス選手権予選
- 男子シングルス
- 小田翔大 第3位(東北大会出場権獲得)

- 坂本陽 第7位
- 大沼航太 ベスト12
- 小原晴生 ベスト16
- 女子シングルス
- 小寺香菜 第3位(東北大会出場権獲得)
- 佐久間柚希 第5位
- 吉田ひなた ベスト12
- 東北インドラテニス選手権予選
- 男子18ダブルス
- 小田翔大・八子(盛岡)
- 第3位(東北大会出場権獲得)
- 小原晴生 坂本陽 ベスト12
- 熊谷快斗・大沼航太 ベスト12
- 18女子シングルス
- 菊池虹・小寺香菜 第3位
- 佐久間柚希・三嶋里奈 第6位
- 岩手県室内テニス選手権大会
- 菊池虹・小寺香菜 初戦敗退
- 東北インドラテニス選手権大会
- 小田翔大・八子(盛岡)一勝一敗予選リーグ敗退
- 女子個人
- 第71回岩手県高等学校総合体育大会
- 男子団体
- 第2位(村上・菊池・沼川・後藤)
- 女子団体
- 第2位(田中・藤原・小原・菅沼)
- 男子個人
- 第3位 菊池保純
- 第5位 村上幸汰
- 第6位 藤原愛弓
- 第7位 藤原愛弓
- 第8位 田中日和
- 第9位 村上幸汰
- 第10位 藤原愛弓
- 第37回東北高等学校アチエリ選手権大会
- 男子団体
- 第3位 後藤健
- 女子団体
- 第3位 後藤健
- 男子個人
- 第3位 後藤健
- 女子個人
- 第3位 後藤健
- 第52回全国高等学校総合体育大会
- 男子団体
- 予選ラウンド出場 菊池保純
- 女子団体
- 予選ラウンド出場 田中日和
- 第34回東北高等学校アチエリ選抜大会
- 男子団体
- 第1位
- 女子団体
- 第3位
- 男子個人
- 第2位 後藤健
- 女子個人
- 第2位 後藤健
- 第32回岩手県高等学校アチエリ競技大会
- 男子団体
- 第2位 大谷新記録
- 女子団体
- 第2位 後藤健
- 男子個人
- 第2位 後藤健
- 女子個人
- 第4位 伊藤源祐
- 吹奏楽
- 全日本吹奏楽コンクール第57回岩手県大会予選
- 中央地区大会
- 全日本吹奏楽コンクール第57回岩手県大会
- 金賞(地区代表)
- 全日本吹奏楽コンクール第57回岩手県大会
- 金賞(県代表)
- 全日本吹奏楽コンクール第62回東北大会
- 銅賞
- 全日本アンサンブルコンテスト第40回岩手県大会
- 予選花巻支部大会

- フルト三重奏 金賞代表
- クラリネット三重奏 金賞代表
- サクソフォーン三重奏 金賞
- 金管四重奏 金賞代表
- 金管四重奏 銀賞
- 打楽器五重奏 金賞
- 全日本アンサンブルコンテスト第40回岩手県大会
- クラリネット六重奏 金賞
- 金管八重奏 金賞
- フルト三重奏 銅賞
- 英語
- 第39回高校生英語弁論大会東北大会
- 優秀賞 高橋心愛
- 岩手県高等学校英語スピーチコンテスト
- 第4位 小原香乃
- 文芸
- 第42回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門
- 岩手県高等学校文芸コンクール
- 【部誌部門】 優秀賞(第2位相)
- 【戯曲部門】 最優秀賞 佐々木晴
- 【小説部門】 優秀賞 佐々木晴
- 【児童文学部門】 優秀賞 佐々木晴
- 【児童文学部門】 優秀賞 佐々木晴
- 【随筆部門】 優秀賞 佐々木晴
- 【短歌部門】 優秀賞 佐々木晴
- 【随筆部門】 優良賞 佐々木晴
- 【俳句部門】 入選 佐々木晴・菊池保純
- 【詩部門】 入選 佐々木晴
- 第30回岩手県高校生読書体験コンクール
- 優秀賞 佐藤梓
- 第34回全国高等学校文芸コンクール
- 【随筆部門】 優良賞(全国2位) 佐々木晴
- 【小説部門】 優良賞(全国3位) 佐々木晴
- 【随筆部門】 優良賞(全国16位) 菊池保純
- 【小説部門】 優良賞(全国2位) 佐々木晴
- 【文芸誌甲部門】
- 第10回富士正晴全国高等学校文芸誌コンクール
- 【文芸誌甲部門】 優秀賞(全国2位) 花北文学部62号
- 【全国高校生文学賞】
- 大賞(全国1位) 佐々木晴
- 合唱
- 第86回NHK全国学校音楽コンクール岩手県大会
- 第71回全日本合唱コンクール岩手県大会
- 銀賞
- 第29回岩手県合唱コンクールコンテスト
- 銀賞
- 第29回岩手県合唱コンクールコンテスト
- 銀賞
- 美術
- 第42回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展
- 第57回県下高校美術展
- 【絵画部門】
- 入選 大原夏芽
- 入選 宇大方爽帆
- 入選 鎌田真緒
- 写真
- 第10回夏季写真コンテスト
- 特賞 高橋栞里 小田島理月
- 入賞 小田島理月 小田島ナウラ

- 佳作 大和朱莉
- 第42回岩手県高文芸写真部門 第38回岩手県高
- 校写真展
- 最優秀賞(全国推薦) 小田島理月
- 最優秀賞(全国推薦) 小田島ナウラ
- 優秀賞 大和朱莉
- 優良賞 小田島理月
- 入賞 高橋栞里
- ※令和2年度全国高等学校総合文化祭高知大会
- 推薦作品2点
- 【旧盆の時】 小田島理月
- 【交響曲第六番】 小田島ナウラ
- 特賞 小田島理月
- 入選 小田島理月
- 入選 小田島ナウラ
- 第41回よみうり写真大賞
- 中高生フォト部門 佳作 小田島理月
- 囲碁将棋
- 平成31年度第1回岩手県高等学校文化連盟将棋
- 順位戦
- 第41回個人戦 第1位
- 金矢翔太
- 第43回個人戦 岩手県高等学校将棋大会
- 男子個人戦
- A級 照井大貴 ベスト16
- C級 菅野太陽 第4位
- 第32回全国高等学校将棋選手権大会
- 男子個人戦
- A級 照井大貴 ベスト16
- B級 照井大貴 ベスト16
- B級 金矢翔太 第5位
- 放送
- 第66回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県
- 大会
- 【朗読部門】
- 最優秀賞 釜本慎輔
- 【制作部門】
- 最優秀賞 作品名「ワイルド星人」
- 第43回全国高等学校総合文化祭
- 【朗読部門】
- 審査員特別賞 釜本慎輔
- 第37回岩手県高等学校放送新人大会
- 【制作部門】
- 優秀賞 常夏(の)咖喱屋
- 全国高等学校総合文化祭(高知大会)出場決定
- 入選 堀江彩那 渡邊愛香 谷藤百香
- 【シオキョー部門】
- 優良賞 Runners



アーチエリー部

「経験」

三年 菊池 響
インターハイ出場はアーチエリー競技においては初めて経験する全国の舞台でした。選手の多さや会場の雰囲気には圧倒されたのを覚えています。

競技が近づくにつれ緊張感が高まり、いよいよ競技開始。しかし、感じたのは緊張よりも楽しさでした。これだけ規模の大きな大会に出場できること、他県の選手と競い合いながら競技することは本当に楽しかったです。インターハイへの出場が決まった時は不安ばかりでしたが、全国の舞台で競技できたことはよい経験になりました。

最後に今まで様々な形でアーチエリー部に携わってくださった顧問の先生方、OB・OGの先輩方、そして保護者の皆様、本当にありがとうございました。アーチエリー部はまだまだ発展途上です。今後ともよろしくお願ひします。



剣道部

東北大会に出場して

三年 菅崎 舞
私たち剣道部は、今年もまた男女

弓道部

インターハイを振り返って

二年 鈴木 健太
2年生でインターハイを経験できて光栄です。大舞台で全力で戦えたこと、自分の射ができたことを誇りに思っています。しかし、自分のミスで外してしま

い結果となりました。岩手代表として結果を残せなかったこと、コーチや顧問の先生、親、仲間にも恩返しできなかったことが悔しいです。私にはまだ選抜大会や新人大会、来年度の高総体があります。これらすべての大会で結果を残すつもりです。インターハイで優勝する選手の器や力、人間性を仲間とともに高めたい、来年度また挑戦します。

花北弓道部は男女ともインターハイ団体優勝を目標に日々精進していきます。応援くださった桜雲同窓会の皆様、本当にありがとうございました。今後とも応援よろしくお願ひします。



放送部

受賞によせて

三年 釜本 慎ノ輔
花高放送部に入ってからと言うもの、

とにかく全国で名前を残すことが夢でした。この年のNHK杯岩手県大会では念願だった最優秀賞を手に入れたものの、7月のNHK杯本戦では準決勝進出を逃す不本意な結果になりました。そのせいもあってこの後すぐに行われた総文祭では、全国入賞の夢は諦めかけていました。それだけに、さが総文の審査員特別賞受賞者として名前が呼ばれた時は、ありえないという気持ちが高まっていました。

3年間の放送部員生活の有終の美を飾ることができました。これも先生方や仲間達の応援や協力あってのものであり、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいです。3年間本当にありがとうございました。

今後とも放送部をよろしくお願ひします。



文芸部

伝えるということ

三年 佐々木 晴

文芸部での活動を通し、私は「伝える」ということについて深く考えてきました。自分の想いや体験を、いかに他者に伝えるか。「伝えたいこと」と「伝えられること」をどこまで近づけられるか。

その悩みに対する一つの答えがこの作品です。「本当のこと」と題し、震災の記憶を伝えようとする高校生の葛藤と挑戦を描きました。震災というテーマは難しく繊細なものです。内陸住まいの私が書くことに、私自身抵抗がありました。ですが、だからこそ伝えられることがあるのではないかと思い筆を執りました。作品制作を通し「伝える」ということについて私なりの答えを見つけたらよいと思います。

最後になりますが、支えあい、共に励んできた全ての方々、そして最後まで読んでくださったあなたに感謝を申し上げて結びのことはといたします。



吹奏楽部

東北大会に出場して

二年 八重樫もえこ

私たちは今年度、三年ぶりに東北大会出場を果たしました。今まで悔しい思いをたくさんしながらも全員でやってきたことが報われた瞬間でした。

東北大会は演奏のレベルが全く違いましたが、全力を出し切った最高の演奏ができました。私たちの演奏で涙してくれる方々がいきました。「思いや感動を届ける演奏ができたのだ」とうれしくなり、改めて音楽の素晴らしさを感じました。三年生の先輩方や先生方、応援してくださった方々のおかげでここまでやってこれました。ありがとうございます。



ございました。次は私たちが後輩を連れていく番です。感謝を忘れず、目標に向かって努力していきます。

平成31年度入試(平成31年3月卒業生)の進路状況

本校は、在校生のほぼ100%が上級学校を目標として勉学に励んでおり、今年も進学準備の32名、就職4名を除く全員が上級学校に進学を決めております。本校の特徴として、ほぼ国公立大学を希望することと地元希望が多いことが挙げられます。その観点から見ると、国公立4年制大学に合格した者は実数で全卒業生の内109名(47%)、その中で地元の岩手大学、岩手県立大学に合格した者はそれぞれ23名、13名(合計で36名、16%)となり、目標達成としては今ひとつの結果であったと思われます。また一方で、所謂「旧帝大系」と呼ばれる大学の合格者が年々数を減らしていることは、全国の受験生の動向が大きく変化しているとはいえ、今後の指導の課題であると考えています。来年度からの入試改革に関わって受験環境はさらに大きく変化することでしょうが、これからの進路決定は、机上の数値から高校3年間をどのように構築し自己評価するか、という主体性に重きを置かれることになります。一方で、「不易」という言葉があるように、この花巻北高校に対する地域や県からの期待はこれからも不変でしょう。また「努力は絶対善」、進路志望の達成のため努力を惜しまないということも紛れもない師弟相互の「不易」の約束です。18歳の若者に、「人生100年の進路決定」をどのように導くか。今後とも同窓会の皆様にはご鞭撻の程をお願い申し上げます。

(進路指導主事 田上洋一)

***** 平成31年度入試(平成31年3月卒業生)合格状況 *****

現役合格者(過卒合格者数) ※過卒合格者については学校に連絡があった者のみ

(1) 国立大学

学校名	31年度	
	現役	過卒
北見工大	1	
北教大釧路校	1	
北教大函館校	5	
弘前大	4	
岩手大	23	2
東北大	5	1
宮城教育大	1	
秋田大	6	
山形大	7	1
福島大	1	
筑波大	2	
宇都宮大	2	
埼玉大	3	1
電気通信大	1	
東京学芸大	1	1
新潟大	4	1
富山大		1
信州大	1	
小計	68	8

宮城大	1	
秋田県立大	2	
前橋工科大	1	
群馬県立女子大	1	
高崎経大	3	
横浜国立大	1	
都留文科大		1
神戸市外大	1	
広島市立大	1	
長野大	1	
会津大		1
小計	43	3
国公立大現役総数	111	
国公立大現役実数	109	

(3) 私立大学

学校名	31年度	
	現役	過卒
札幌学院大	3	
北海学園大	2	
北海道医療大	1	
北海道科学大	1	
日本医療大	2	
青森大	2	
八戸学院大	2	
弘前学院大	2	
岩手医大	17	
盛岡大	39	
岩手保健医療大	6	
東北学院大	19	3
東北工大	5	

東北福祉大	24	1
東北医薬大	4	
宮城学院女子大	3	
仙台白百合女大	2	
尚綱学院大	2	
日赤秋田看護大	1	
東北芸術工大	1	
奥羽大	1	
国際医療福祉大	4	
亜細亜大	1	
群馬パース大	1	
埼玉医大	1	
城西大	2	
文教大	2	1
淑徳大	1	
千葉工大		1
秀明大	1	
和洋女子大	1	
青山学院大	1	
桜美林大	1	
杏林大	1	
慶応大	1	
国学院大		1
駒澤大		1
芝浦工大	1	
順天堂大	2	
専修大	2	
大東文化大	1	
玉川大	1	
多摩美大	1	
中央大	1	1

津田塾大	1	1
東海大	5	
東洋大		1
二松学舎大	1	
日本大	2	4
日本女子大	2	
日本体育大	1	
法政大		2
東京都市大	1	
武蔵野大	1	
明治大	3	1
早稲田大	1	
神奈川大	3	1
関東学院大	2	
昭和音大	1	
東京工芸大	1	
フェリス女大	1	
新潟食料農業大	1	
静岡福祉大	1	
中京大	1	
名古屋学院大	1	
立命館大		1
龍谷大	2	
近畿大	1	
神戸学院大	1	
中央学院大	1	
東都大	2	
明星大		1
静岡産業大	2	
身延山大	1	
小計	206	21

(4) 国公立短期大学

学校名	31年度	
	現役	過卒
岩手県大宮古短	2	
岩手県大盛岡短	3	1
山形県米沢女短	3	
大月短	1	
小計	8	1

(5) 私立短期大学

学校名	31年度	
	現役	過卒
埼玉医大短	1	

(6) 文部科学省所管外

学校名	31年度	
	現役	過卒
岩手産業技術短	4	

(7) その他

学校名	31年度	
	現役	過卒
専門・各種学校	12	

(8) 医学部医学科合格者数

医学部医学科	31年度	
	現役	過卒
		1

(2) 公立大学

学校名	31年度	
	現役	過卒
はこだて未来大	1	
釧路公立大	11	
名寄市立大	3	
青森県立保健大	1	
青森公立大	1	
岩手県立大	14	1

同窓会費納入状況

(平成30年12月31日現在)

期(卒業年)	残額(円)	期(卒業年)	残額(円)
31(昭和42年)	完	46(昭和57年)	360,000
32(昭和43年)	144,000	47(昭和58年)	完
33(昭和44年)	完	48(昭和59年)	完
34(昭和45年)	完	49(昭和60年)	360,000
35(昭和46年)	完	50(昭和61年)	360,000
36(昭和47年)	完	51(昭和62年)	完
37(昭和48年)	完	52(昭和63年)	450,000
38(昭和49年)	完	53(平成元年)	490,000
39(昭和50年)	完	54(平成2年)	150,000
40(昭和51年)	完	55(平成3年)	510,000
41(昭和52年)	380,000	56(平成4年)	250,000
42(昭和53年)	410,000	57(平成5年)	510,000
43(昭和54年)	25,000	58(平成6年)	190,000
44(昭和55年)	完	59(平成7年)	510,000
45(昭和56年)	340,000	60(平成8年)	510,000

※「卒業年」は、その年の3月卒を表します。(残額合計 5,949,000円)

桜雲同窓会は、同窓生の皆様に納めて頂いている会費と、在校生の入会金によって運営されており、少子化による生徒数減少が続くと、同窓会事業の運営にも支障が生じる恐れが考えられます。

今後の同窓会運営のために、各期理事を中心に、会費納入の仕組み、現状を周知して頂き、会費の納入に特段のご協力をお願いいたします。

完納した期や会費を納入していただいた期は、同期会開催の際に会費納入に協力いただき、欠席の方には代表幹事宛に送金をしていただく等、工夫をされています。

同窓会費納入のお願い

なお、今年度は51期、52期、54期、56期の皆様より会費の納入がありましたことを報告いたします。

桜雲同窓会事務局

会費納入の仕組み

- ・【桜雲60期まで】卒業時に一人当たり、三千元を入会金として納入。(すべての期が完納)
- ・卒業後六年経過した時点より、各期年会費二万円を五十二年間納入。
- ・【桜雲61期以降】在学中に完納。(学年諸会費と一緒に納入)

事務局だより

今年度新しく小向司教諭(39期)、阿部雄至副校長(43期)、小原尚教諭(76期)を迎え事務局としてスタートいたしました。八月三日(土)の定期総会には約130名もの同窓生に参加を頂きました。誠にありがとうございました。

高橋信雄先生(26期)からの「多田等観と宮沢賢治」と題しました講演会も素晴らしい、定期総会を成功裏に終わらせることができました。

本校は令和三年の90周年に向けて周年事業の準備が始まっています。詳細は後日お知らせすることになると思います。最後に訃報ですが、今年度、佐藤典夫教諭(46期)と石川康教諭の2名がご逝去されました。謹んで冥福をお祈り申し上げます。

令和元年度
桜雲同窓会事務局(◎は事務局長)
小向 司 教諭(39期 英語)

～寄贈のご紹介～

- 山折 哲雄氏(14期)
 - ・『激しく考え、やさしく語る』
 - ・『「身軽」の哲学』
- 齊藤 毅憲氏(25期)
 - ・『横浜市立大学論叢 第70巻第2号』
 - ・『横浜市立大学叢書 世界のミュージカル・日本のミュージカル』著者 岩崎 徹、渡辺 諒
 - ・『花巻開町370年祭記念 花巻のあゆみ』岩手宣伝観光株式会社
 - ・『産業集積活性化に関する研究』
- 高橋 信雄氏(26期)
 - ・『花巻人形の愉しみ(菊池正樹著)』
- 千葉 剛氏(29期)
 - ・『Japan Evolution 進化する日本』
- 千葉 芳幸氏(35期)
 - ・『盛岡・花巻 おみやげ手帳』



最新 2019 桜雲同窓会員名簿

令和元年11月1日発刊【価格】8,000円(送料込み)

創立80周年記念誌「桜雲臺八十年」

平成24年3月1日発刊【価格】3,000円(送料込み)

お申込み

【桜雲同窓会事務局】
花巻北高等学校内 TEL.0198-23-4134
【業務委託先】
(株)菊忠印刷 TEL.0198-42-2511

- 阿部 雄至 副校長(43期 理科)
- 佐藤 典夫 教諭(46期 体育)
- 切田 壮教諭(52期 英語)
- 齋藤 崇教諭(54期 体育)
- 中村 忍主事(56期 事務)
- 小田島 智子 教諭(59期 英語)
- 小川 実保子 教諭(61期 数学)
- 及川 尚教諭(76期 国語)

編集後記

会社勤務時代から、県内各自治体、各団体、各企業には大変お世話になりました。勤務先が盛岡だったこともあり、盛岡商工会議所や盛岡法人会などでも様々な方のお世話になりました。そんな中、花巻北高OBの方々には、同窓ということとで格別のご厚意をいただきました。先日も会社退職以来久しぶりでマスコミ某社にお伺いしたのですが、その中にも桜雲同窓の方がいて、親身になって相談に乗ってもらうことができました。また1月に私が主催したイベント「映画&コンサート」でも、たくさんのOBの方々のご厚意に触れることができました。

今年度、新たに北海道桜雲会、桜雲同窓会釜石支部が設立されたとのこと。同窓の結びつきがより固くなり、これらからどんな社会に出てくる若いOBたちにも先輩たちの温かい目が注がれると考えると、とても喜ばしいことだと思います。

さて、私ごとになりますが、今年選層を迎えます。先輩方には敵わないものの、多少は社会経験も積み、それぞれの分野で活躍してきた同級生たちがたくさんいます。私たちが、自分たちががっていたように、若いOBたちに先輩として声をかける世代となりました。同窓会組織を活かしながら、同窓の絆をこれまで以上に強く持ちたいと考えています。

桜雲同窓会 定期総会

令和2年8月1日(土)
午後2時
ホテルグランシェール花巻

(43期 北山公路)